

今日のおおたか中 令和2年5月1日（金）

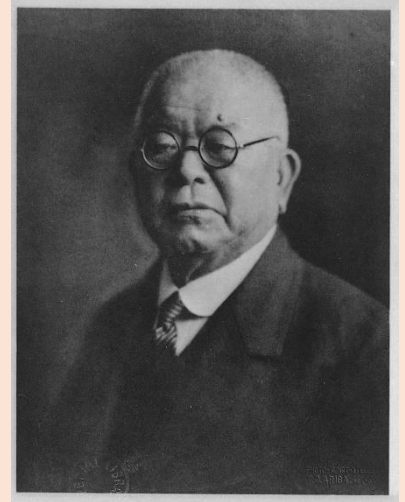
☆医学の基本は予防 ～北里柴三郎～

2024年度から紙幣が新しくなります。皆さんは、新しいお札の肖像画が誰になるか、知っていますか？

新千円札の肖像となるのが、明治時代に活躍した医学者、北里柴三郎です。彼は、破傷風の血清療法（菌に免疫をもった血液を作り、それを投与することで治療する方法）を発見するなど、医学の発展に力を注ぎ、「近代日本医学の父」と呼ばれました。

今、コロナウイルスに対する不安が大きい理由として、その治療法が確立していないことも挙げられると思います。治療法がわからない伝染病を治す手段を発見するということが、どれほどのことか、今の皆さんも想像できるのではないのでしょうか。

北里柴三郎



彼が大事にしていたのが、普段の**摂生保健**（普段の生活の中で健康に気をつけること）でした。今では当たり前である、手洗い・うがい。こういったことも、19世紀半ばまでの世界では行われていませんでした。医師でさえ、手術や解剖の後に手を洗わずに、他の患者の診察や処置を行うのが当たり前だったのです（手に付着した汚れや菌から感染するということに、当時は気づいていなかったのです）。

手洗い・うがいは予防の基本。

今までよりも少し時間をかけて、細かいところまで丁寧に

洗ってみませんか？